

# 授業改善書

科目名	情報処理(表計算)
担当者	松村真木子

## 授業の概要

Excel2013 入力の基本知識から応用まで習得する。Excel2013 の特性を中心に学習し、理解し活用する力をつける。前半では、表計算の基本とグラフ作成を学習する。特にグラフの表現力を強化している。後期は、応用として、関数、ピボットテーブル、図形を学習する。Excel を中心とするが、Word および PowerPoint さらに SPSS との関係も紹介する。PC およびインターネットの基本構造とセキュリティの技術的な理解を深め、PC ユーザーとして総合力を強化する。

## 授業の問題点

今回は、4 限(基礎中心)の参加人数が多くかつ、個人指導のみを求める学生もいて、全体の進行を遅らせる要因となった。一方、3 限 (Excel 経験者) は参加者が4 限の半数ほどだったので一人ひとりゆっくりと個人指導ができた。授業中のノートについては、ノートをとるといよりも、プリントを配布し、復習しながらプリントに書き込むよう指導している。

## 学生の授業満足度

学生の満足度は、授業内容に興味や関心を持ちましたか(3 限 4. 33;4 限 4. 52)、授業の内容はあなたにとって得るところのあるものでしたか(3 限 4. 53;4 限 4. 66)、全体的に振り返って、授業に満足できましたか(3 限 4. 47;4 限 4. 59)とおおむね満足してもらえたと思う。

Excel のパターンを使うだけではなく、各自が工夫してオリジナルな表現をすること、便利な技など Excel の面白さを伝えた結果であろう。今後も、学生の個性を引き出す授業を心掛けたい。

## 授業改善の課題と方策

秋期は、3 限を応用中心、4 限を基礎中心とし、シラバスに明記しておいた。しかし、他の授業との兼ね合いから自分のスキルにあったコースを受講できない学生がいた。初回受講時に、自分のレベルにあったクラスを選択するよう指導を徹底したい。関数が進むにつれて欠席者が出た。個人の理解力の差が広がるので、個人指導の時間を取るようにした。4 限は学生数が多く個人対応の時間が限られていたので、理解力の高い学生が、遅れている学生に教える相互支援の時間を取って見たところ非常に雰囲気は良くなった。昼休みに希望者に個人指導を開講しているが、もっと利用してほしいところである。

スマホ利用により、PC の経験が減っていると感じている。PC を使うことで、できることの可能性、楽しさを丁寧に伝えていきたい。

## その他